

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
大泉町	仙石	令和4年5月11日	令和4年5月11日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	18.ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	9.3ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	5.7ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	- ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・小規模兼業農家が多く、効率的な農業経営が進まない。現在は家族経営により実施されている。 ・高齢化などにより、農地の維持管理すら困難になると予想され、貸出しを希望する農地が増加する一方で、区域内の中心経営体では受けきれない農地が増加する恐れがある。 ・区域内に後継者や担い手が少ない。
--

3 対象地区内の課題解決や中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・本地区の農地利用については、認定農業者を中心とする中心経営体が担う。 ・農地整備事業を早期に実現し、担い手に集積し、今後の経営推進を図る。 ・担い手の育成実施。 ・農地中間管理事業の周知、活用による集積化。 ・農業者の高齢化や後継者不足の中で、農地問題を解決していくため、集落や地域の関係者が徹底した話し合いを行い、中心経営体にどうやって農地を集めるか明確にする。
